

技術検討委員会の意見 「玉名横島地区」

本地区は、干拓によって造成された農業生産性の高い優良農地において、水稻、麦、野菜等を組み合わせた複合経営とトマト、いちごの施設園芸などの営農が盛んに行われている。

農家数は減少傾向にあるものの、農業経営の改善と規模拡大が進んでおり、集落営農による生産者の組織化が図られている。

一方、本地区の海岸保全施設は築造後 40 年以上が経過し老朽化が著しく、また、地盤沈下による堤防高の不足も生じており、施設機能が低下している。このため、台風や高潮等に対する十分な防災機能が果たされていない状況であり、災害の脅威にさらされている。

本事業の実施により、台風や高潮等から堤防背後の農地等を守ることで、農業生産の維持及び農業経営の安定化を図ることに加え、地域住民の生命、財産を防護することが期待される。

また、事業の実施に当たり、覆砂や突堤の設置によって底生生物の生息域の確保を図っていることや、常に海を見渡せるよう波返工と堤防盛土の高低差を小さくし景観を考慮するなど、環境保全等に努めている。

今後とも、コスト縮減及び環境保全等への考慮に努めつつ、早期完了に向けた計画的な事業推進が望まれる。